



# Platinum Edge 非IT作成物の例



プロダクトとは価値を提供するための手段である。プロダクトには、明確な境界があり、既知のステークホルダー、明確に定義されたユーザーや顧客がいる。プロダクトは、サービスや物理的な製品であったり、あるいは、より抽象的なものであったりする。—スクラムガイド 2020

## プロダクトゴール

**コンテンツ開発**  
デジタル手法で仕事をするための準備が必要  
製品開発のプロダクト  
「Agile Project Management For Dummies」というプロダクトは、実践のためのフレームワークになる書籍である。  
書籍にまつさまざまな誤解とは違って、このプロダクトは、すべてのバックで実際の現場での応用例を紹介しており、品質と進捗の、早期かつ定期的なフィードバックを通してビジネス上の意思決定を改善するという**顧客の価値を支えるもの**である。

**マーケティングキャンペーン**  
Smarty Deskの売り上げを最大限引き上げたい  
Smarty Deskのオンライン小売業者向けの「Stop Sitting Around」というプロダクトは、Smarty Desk 独自のメリットを最大限に活用した広告キャンペーンである。  
Eメールマーケティングとは違って、このプロダクトは、ストーリーテリングをクラウドソーシングしており、小売業者をさらに成功させるという**顧客の価値を支えるもの**である。

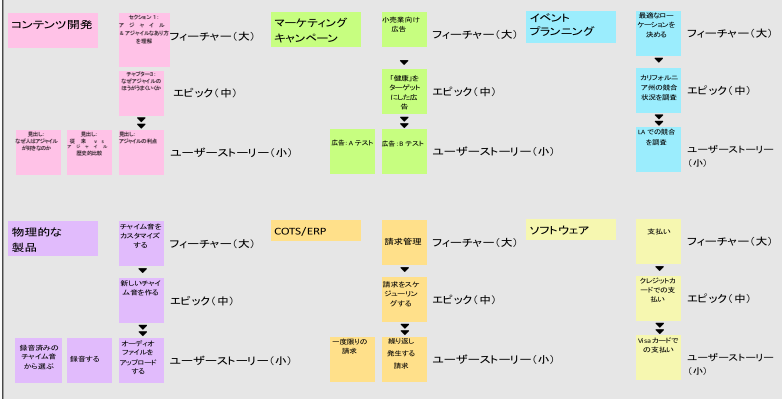
**イベントプランニング**  
最高級のスクラム認定がほしい  
専門家向けの「プロダクトエッジ認定スクラムマスターコース」という製品は、スクラムの原則とスクラムのフレームワークに関する最新の学習を提供する。インストラクターによる対面型認定講座である。  
オンラインの学習型講座とは違って、このプロダクトは、実際の現場と同じようにスクラムを行いたいという**顧客の価値を支えるもの**である。

**物理的な製品**  
一日を通して身体を動かすために**アシストが必要**  
リモートワーク一貫の「Smarty Desk」というプロダクトは、デスク作業をしながら身体を動かすことを可能にする**ワークステーション**である。  
このプロダクトは、終日、遠隔の作業エリアの課題を自動化し、現代における健康への悪影響を軽減するという**顧客の価値を支えるもの**である。

**COTS/ERP**  
顧客のニーズを管理する**顧客を中央化**したい  
公共サービスのカスタマーアシスタンス向けの**CRM**というプロダクトは、請求、CRM、チャットボット、公共サービスを統合する**ERP**である。  
別々の専門ツールをカスタム統合するとは違って、このプロダクトは、顧客ライフサイクル全体を通じて、セキュリティ、プライバシー、データの責任性を保証し、顧客が生活するために欠かせない「エネルギー」を供給するという**顧客の価値を支えるもの**である。

**ソフトウェア**  
外出中でも銀行機能に**アクセス**したい  
XYZ銀行の顧客向けの「MyXYZ」というプロダクトは、24時間いつでも安全なオンラインバンキングを利用できる**モバイルアプリケーション**である。  
自宅やオフィスのPCからのオンラインバンキングとは違って、このプロダクトは、外出先でも利用できる銀行サービスを提供するという**顧客の価値を支えるもの**である。

## 漸進的精緻化



## リリース計画

**コンテンツ開発**  
リリース目標: 基礎としてアジリティの価値と原則を顧客に浸透を高められるようにする。

**マーケティングキャンペーン**  
リリース目標: 小売業者が、健康に良いことに関する意識を高められるようにする。

**イベントプランニング**  
リリース目標: フォットボス会議が、イベントの実行可能性を判断できるようにする。

**物理的な製品**  
リリース目標: 顧客が、基本のスケジュールで自動的にデスクの高さを調節できるようにする。

**COTS/ERP**  
リリース目標: 新規顧客のアカウントを作成し、新規顧客が公共サービスを受けられるようにする。

**ソフトウェア**  
リリース目標: 顧客が、有効な口座にアクセスし、閲覧し、取り寄せるようにする。

## 完成の定義

この図は、プロダクトの完成度を評価するためのチェックリストを提供しています。コンテンツ開発、マーケティングキャンペーン、イベント計画、物理的な製品、COTS/ERP、ソフトウェアの各カテゴリについて、具体的なタスクとリスクの承認事項がリストアップされています。

## プロダクトロードマップ

顧客が\_\_\_\_\_をできるようにする

このロードマップは、コンテンツ開発、マーケティングキャンペーン、イベント計画、物理的な製品、COTS/ERP、ソフトウェアの各領域におけるタスクとマイルストーンを視覚的に示しています。

## スプリント計画

この図は、各スプリントにおける具体的な作業タスクを列挙しています。例えば、コンテンツ開発では「第1章を、スクリプトと出典を含め全文読む」などのタスクが示されています。

## ユーザーストーリー

この図は、ユーザーの視点から見た製品の使用シナリオを詳細に説明しています。例えば、「私は、私のスケジュールを管理するために、このアプリを使用したい」といったストーリーが示されています。